

図書館総合展 国立国会図書館

あなたもわたしも読みやすくなる！アクセシブルな電子図書館を実現する第一歩—『電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン』を足掛かりに—

電子図書館の普及・発展とアクセシビリティの向上

2023年10月25日

植村八潮

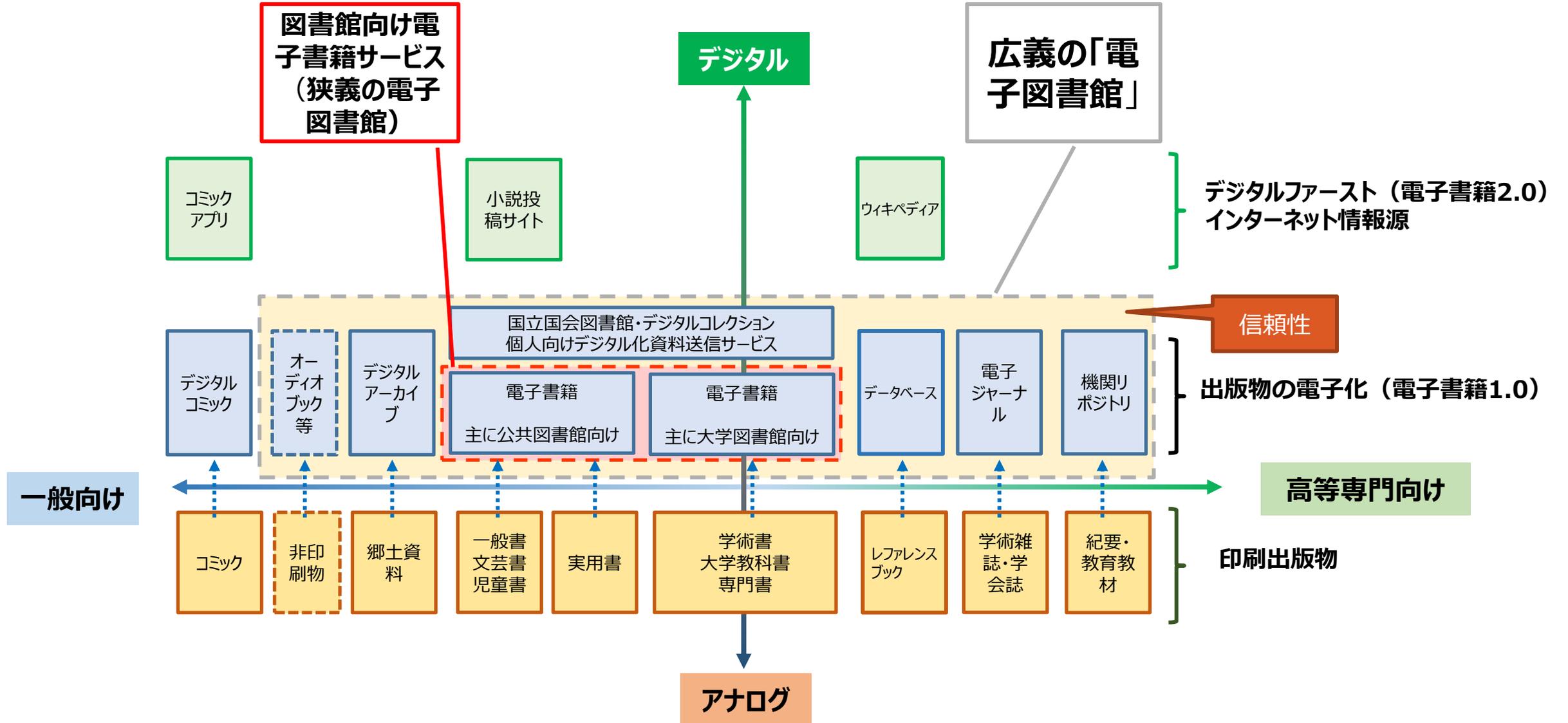
専修大学 文学部 ジャーナリズム学科

yashio@isc.senshu-u.ac.jp



本資料はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0 国際(CC BY 4.0)に従って利用が可能です。

電子図書館が扱う電子書籍サービス



電子図書館・電子書籍サービス調査



植村八潮、野口武悟、長谷川智信、電子出版制作・流通協議会

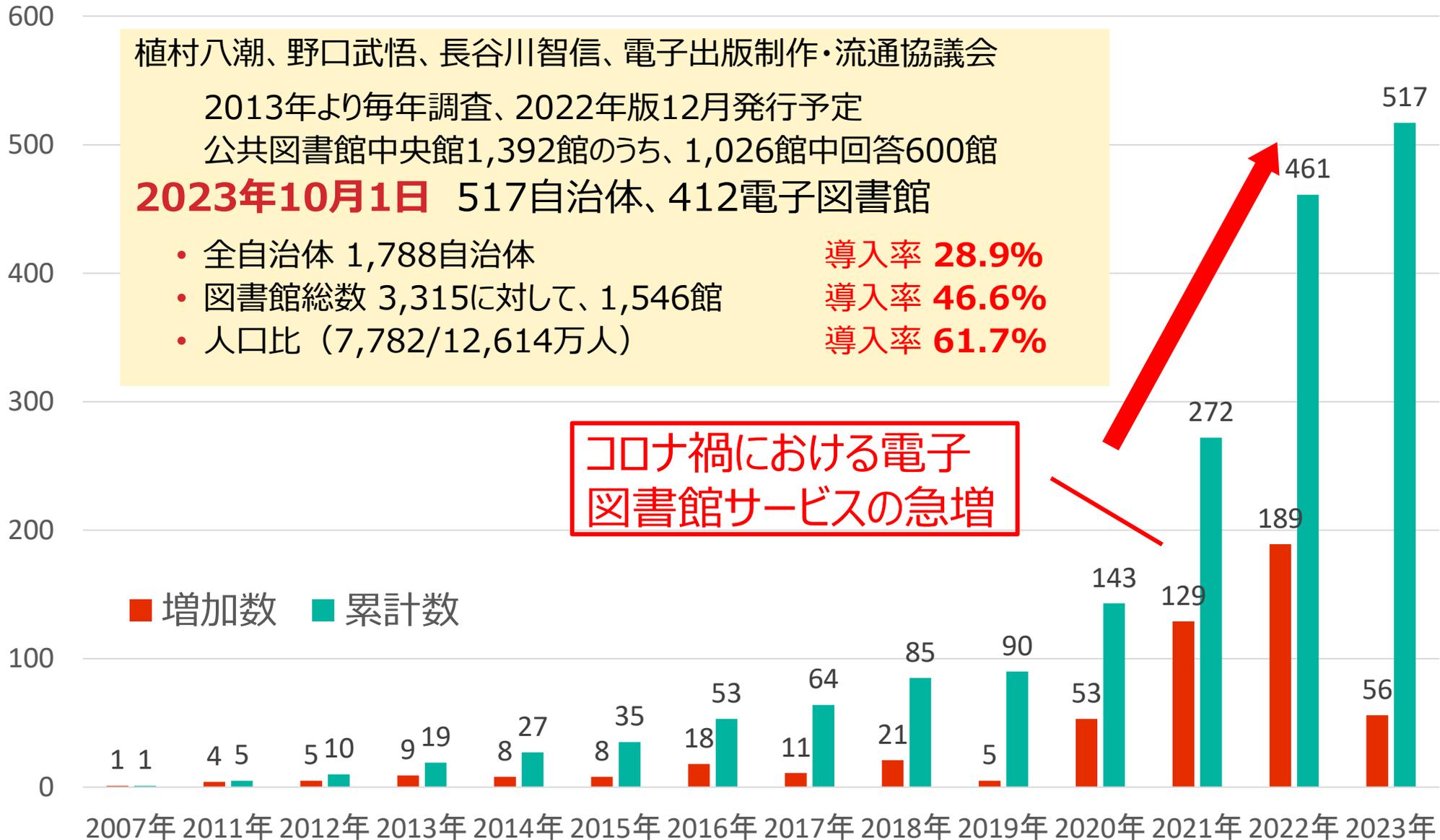
2013年より毎年調査、2022年版12月発行予定

公共図書館中央館1,392館のうち、1,026館中回答600館

2023年10月1日 517自治体、412電子図書館

- 全自治体 1,788自治体 導入率 **28.9%**
- 図書館総数 3,315に対して、1,546館 導入率 **46.6%**
- 人口比 (7,782/12,614万人) 導入率 **61.7%**

コロナ禍における電子図書館サービスの急増



2023年電流協 電子図書館アンケート（集計中）

※調査報告書（12月発行予定）に内容掲載

1. 回答数に占める、電子書籍サービス導入自治体の増加（325/721 45%）
→「電子書籍サービス」に対する導入後の具体的な意見が反映
2. 電子図書館**未導入の自治体でも導入意向が強い**
3. 電子図書館サービスの評価
→非来館サービス（95%）、**アクセシビリティ関連**、学校連携
4. 電子書籍サービスがある自治体での、学校の授業や読書活動での利活用が増加
5. 若年層向けコンテンツのニーズUP（児童書・絵本、図鑑・年鑑、マンガ）
6. 若年層（12歳以下、12歳～19歳）利用の増加
7. 電子書籍「読み放題パックのニーズが高い」

書籍および電子書籍の刊行点数

紙の新刊書籍点数2022 66,885点（2012年78,349点）

出版情報登録センター（JPRO） 2023年8月現在

- 紙の出版物約：317万点（市場流通点数80万タイトル程度か）
- **電子書籍：52万点**（コミックスを含まない文字系電子書籍）

大手電子書籍取次MBJ（モバルブックジェーピー）

- 取扱タイトル数：約965,800タイトル（「こち亀」は200巻あっても1）
- 書籍（文芸、学術専門書など）タイトル数：504,000タイトル
- **EPUBリフロー電子書籍25万タイトル前後**（推測）
- TTS対応かどうかは不明

出版界：アクセシブル・ブックス・サポートセンター（ABSC）

2020年4月 日本書籍出版協会アクセシブル・ブックス委員会（AB委員会）の設置承認

2021年1月 第1回AB委員会が開催

2021年9月 JPOアクセシブル・ブックス・サポートセンター（ABSC）準備会

- ABSC（準備）レポートの発行
- 出版界への啓蒙活動
- 今後、視覚障害者等団体への窓口対応

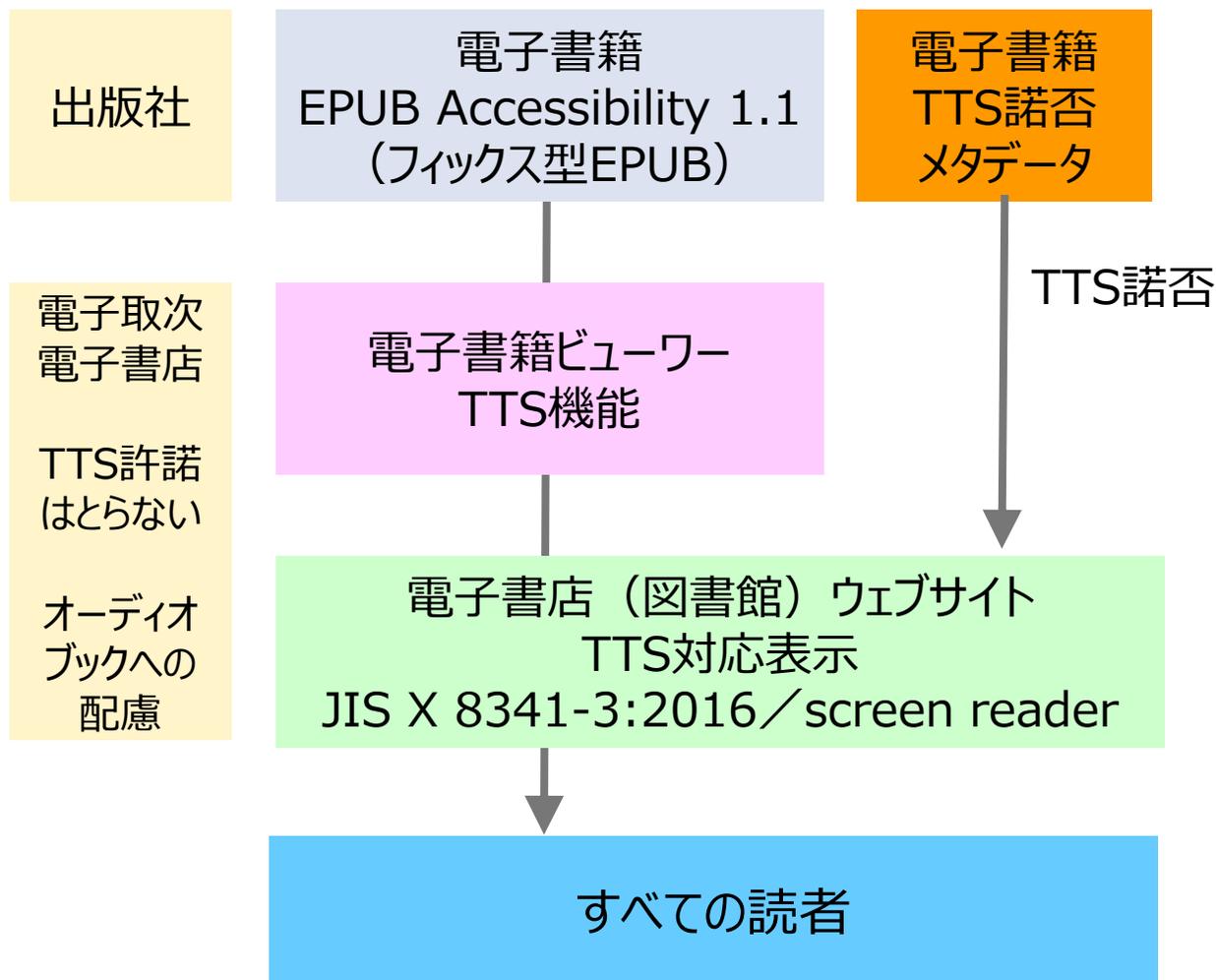
2023年1月 本のカタログサイトBooks

- アクセシブル化と情報の掲出

2023年4月 ABSC正式の発足



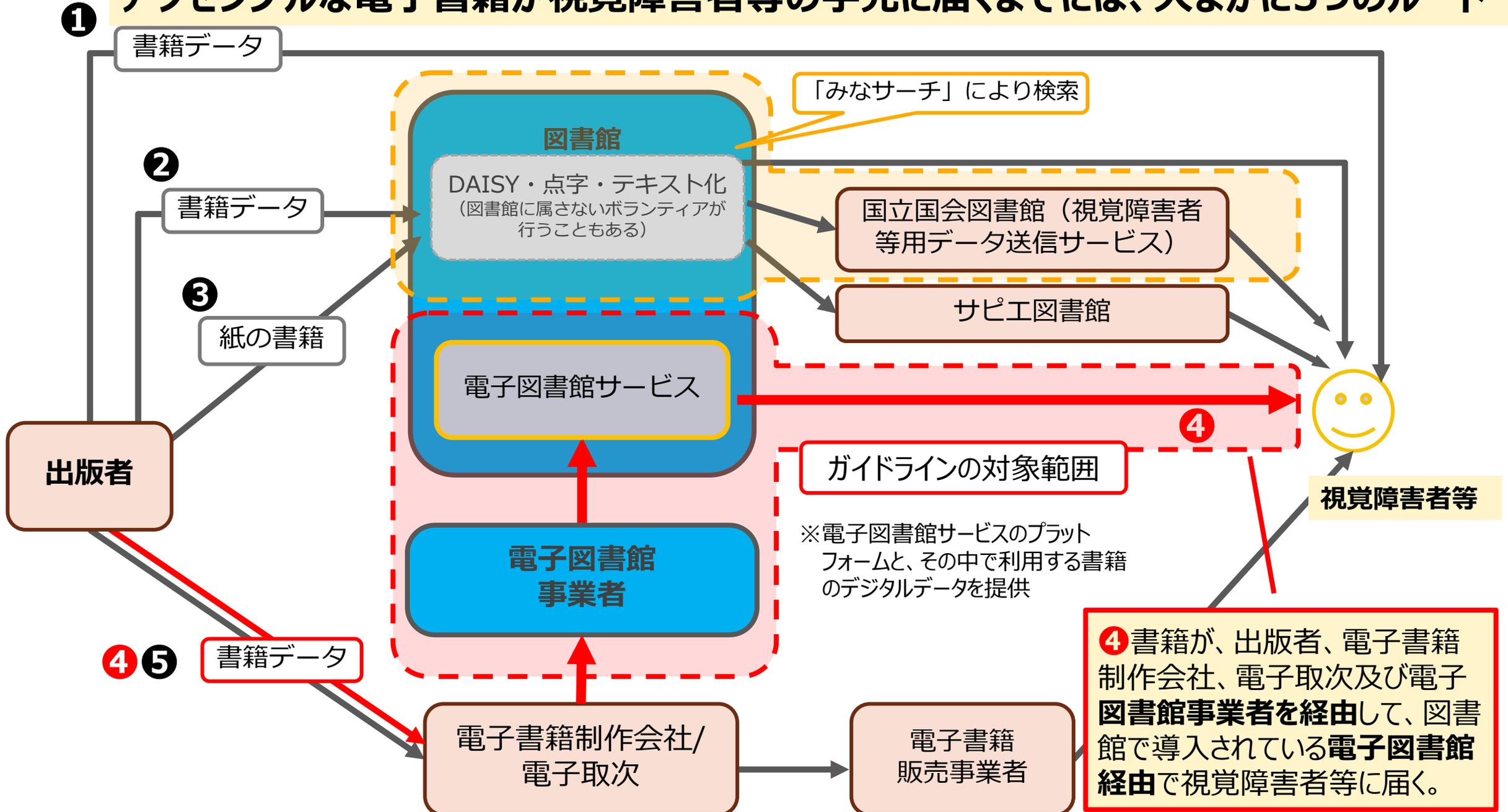
電子書籍アクセシビリティ実現の「三段階」



JIS X 8341-3: 2016「高齢者・障害者等配慮設計指針－情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス－第3部：ウェブコンテンツ」を参考規格

- 図や画像、動画に対して代替テキストを付与して読み上げに対応
- 販売サイト共通の課題としては、クレジットカード情報の入力手続き
- 入力フォームでカタカナ、ひらがなの区別を要求すると音声読み上げで確認できない
- キーボードのみですべての機能が操作可能
- ウェブサイトは、ページの内容が分かるようなタイトルを付ける。構造化して見出し要素などを適切につける

アクセシブルな電子書籍が視覚障害者等の手元に届くまでには、大まかに5つのルート



ご清聴ありがとうございました